

令和4年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 令和4年度事業報告書	
1. 事業概況（令和4年度を振り返って）	3
2. 総裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	4
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 「戦後日本のイノベーション100選」特設サイトの運営	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 未来の科学の夢絵画展	8
(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	9
(4) 少年少女発明クラブ事業	9
(5) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	9
(6) 東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	10
(9) 青少年創造性開発育成委員会	10
(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛	10
11. 知的財産権制度普及等事業	10
国際知的財産保護フォーラム	10
12. 地域機関との相互連携	11
発明協会会長等懇談会（8地方ブロック）	11
13. 関係省庁への協力	11
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	11
(2) 特許庁知財功労賞への協力	11
14. 東京発明推進協議会の活動	11
15. 公益事業の広報活動	11
I - II. 事業報告書の附属明細書	
事業報告書の附属明細書	12
II. 令和4年度決算書	
貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
正味財産増減計算書内訳表	15
財務諸表に対する注記	16
附属明細書	17
財産目録	18
収支計算書	20
収支計算書（資金ベース）	21

I-I. 令和4年度事業報告書

1. 事業概況（令和4年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に貢献するため、令和4年度においても引き続き、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進した。

発明奨励振興事業では、全国発明表彰において恩賜発明賞ほか各賞を贈呈するとともに、全国8ブロックにおいて地方発明表彰を実施した。青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、少年少女発明クラブ事業等を実施した。なお、全国少年少女チャレンジ創造コンテストについては新型コロナウイルス感染症の予防対策が困難であることから開催を中止した。

また、同感染症対策として、各事業における選考を一部オンライン等で実施したほか、職員に対してはテレワークや時差出勤を推奨し、職場での感染防止に努めた。

以下、令和4年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

3. 役 員 構 成 （令和5年3月31日現在）

会 長	1名	（代表理事）
副 会 長	6名	（うち1名代表理事）
専務理事	1名	（業務執行理事）
常務理事	2名	（業務執行理事）
理 事	32名	
監 査 役	2名	
特別顧問	2名	
顧 問	2名	
参 与	1名	
幹 事	120名	

4. 会 員 数 （令和5年3月31日現在）

370社・名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 令和 4 年 6 月 20 日 13 : 15 ~ 13 : 55
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 事 <決議事項>
第 1 号議案 令和 3 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事選任の件
<報告事項>
令和 4 年度事業計画及び同収支予算報告の件

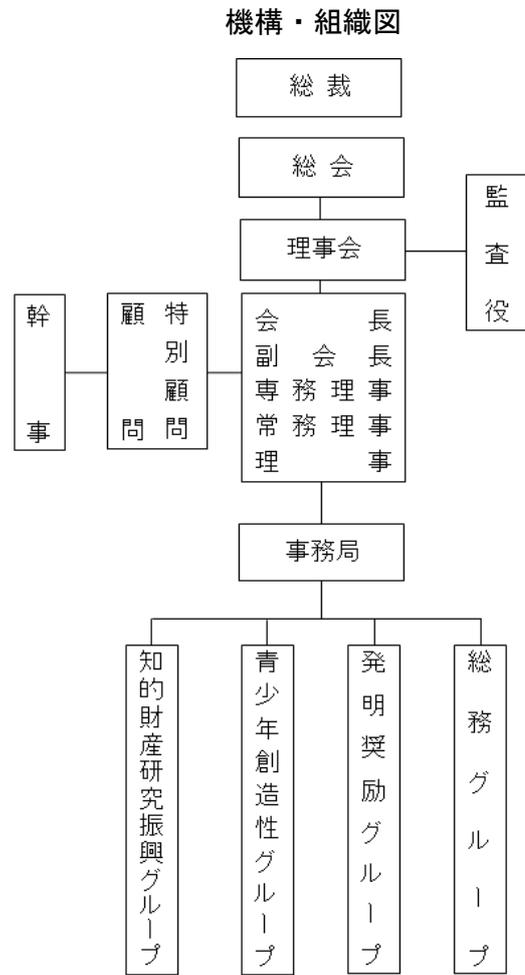
(2) 理事会

- ①日 時 令和 4 年 5 月 23 日 13 : 30 ~ 14 : 30
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催
議 題 (1) 令和 3 年度事業報告及び決算（案）について
(2) 理事選任（案）について
(3) 定時総会の招集（案）について
(4) 幹事の推薦について
(5) 2022 年度 公益財団法人 J K A 補助事業 について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入
(3) 令和 3 年度 青少年創造性開発育成事業へのご協賛
(4) その他
- ②日 時 令和 4 年 6 月 20 日 14 : 05 ~ 14 : 15
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催
議 題 (1) 会長及び副会長の選定について
(2) 特別顧問、顧問及び参与の推薦について
(3) 幹事の推薦について
- ③日 時 令和 5 年 3 月 15 日 12 : 30 ~ 13 : 15
場 所 霞山会館「霞山の間」及び Web 会議システムの併用により開催
議 題 令和 5 年度事業計画・同収支予算（案）について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況の報告
(2) 令和 3 年度「正味財産増減計算書内訳表」の一部の補正について
(3) その他

6. 登 記 事 項

理事変更登記 令和 4 年 7 月 22 日

7. 組織及び職員数 (令和5年3月31日現在)



職員数 19名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

皇室より御下賜金を拝受し、令和 4 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を贈り、その榮譽を讃えた。また、第 81 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品を恩賜記念賞に選定した。

- 恩賜発明賞 「音を振動・光で知覚する身体装着装置の意匠」
本多 達也 富士通株式会社
高見 逸平 元 富士通デザイン株式会社
千崎 雄大 株式会社アルテクナ
- 恩賜記念賞 「360 度自由自在に動かせる「オムクロタイヤ」」
山根 康輔 宇部市立藤山中学校 3 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

- 主催 発明協会
- 後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

令和 4 年度は、地域の発明協会、関係団体等からの推薦により、意匠・電気・化学・機械及び未来創造専門部会を経て、令和 4 年 4 月 20 日の選考委員会において、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞を選考した。

表彰式は、令和 4 年 6 月 30 日オークラ東京 (The Okura Tokyo) において、総裁常陸宮殿下御臨席のもと、大野内閣府副大臣、田中文部科学副大臣、石井経済産業副大臣、森特許庁長官をはじめとする来賓の参列を得て挙行之、各賞のほか恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、未来創造発明賞、未来創造発明奨励賞を受賞した法人の代表者に未来創造発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

また、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を、特別賞、未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞受賞者にはそれぞれ発明奨励金を贈呈した。

なお、本表彰式は新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して開催した。

- 第 1 表彰区分
 - 恩賜発明賞 1 件 3 名 特別賞 9 件 30 名
 - 発明賞 12 件 38 名 発明実施功績賞 8 件 8 名
- 第 2 表彰区分
 - 未来創造発明賞 1 件 3 名 未来創造発明奨励賞 2 件 8 名
 - 未来創造発明貢献賞 3 件 4 名
- 発明奨励功労賞 9 名

(2) 地方発明表彰

- 主催 発明協会
共催 46 道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、山形県、山梨県、愛知県、大阪府、鳥取県、香川県、佐賀県、日本弁理士会、工業所有権電子情報化センター

令和 4 年度は、地域の発明協会から多数推薦された中から、令和 4 年 7 月 15 日に開催した中央選考委員会（書面開催）及び 8 月下旬に 8 ブロックで開催した地方選考委員会（書面開催）において各賞を選考した。

表彰式は、10 月中旬から 11 月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計 460 件、1,364 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 19 日	北海道旭川市
・東北地方発明表彰式	11 月 16 日	山形県山形市
・関東地方発明表彰式	11 月 18 日	山梨県甲府市
・中部地方発明表彰式	11 月 25 日	愛知県名古屋市
・近畿地方発明表彰式	11 月 17 日	大阪府大阪市
・中国地方発明表彰式	10 月 28 日	鳥取県鳥取市
・四国地方発明表彰式	11 月 8 日	香川県高松市
・九州地方発明表彰式	11 月 2 日	佐賀県佐賀市

(3) 「戦後日本のイノベーション 100 選」特設サイトの運営

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に貢献したイノベーションを紹介する特設サイトの運営を行った。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 全日本学生児童発明くふう展

- 主催 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

①第 80 回全日本学生児童発明くふう展

令和 4 年 8 月 5 日午前、前年度から開催を延期していた表彰式を、科学技術館サイエンスホールにおいて池田文部科学省研究振興局長、濱野特許庁長官をはじめ来賓多数の参列を得て挙行した。

同日午後には、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御来場になり、恩賜記念賞及び特別賞受賞作品全 14 点について、受賞者から直接説明をお受けになった。両殿下は受賞者にご質問をされるなど、終始和やかな雰囲気の中、およそ 1 時間にわたって作品を御覧になった。

翌 6 日から 7 日には、同館イベントホールにおいて新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて展覧会を開催（「第 44 回未来の科学の夢絵画展」と同時開催）した。

②第 81 回全日本学生児童発明くふう展

令和 4 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品のうち地域の発明協会より推薦された作品を中心に 699 点の応募があった。これらの作品について、令和 5 年 1 月 12 日に審査幹事会、同月 26 日に審査委員会を開催し、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を決定した。

令和 5 年 3 月 23 日には、科学技術館サイエンスホールにおいて、正仁親王妃華子殿下御臨席のもと、井出文部科学副大臣、太田経済産業副大臣をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行了した。

翌 24 日から 26 日には、同館イベントホールにおいて新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて展覧会を開催（「第 45 回未来の科学の夢絵画展」と同時開催）した。

・第 81 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 123 点

(2) 未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、日本美術教育連合、美育文化協会

①第 44 回未来の科学の夢絵画展

令和 4 年 8 月 4 日、前年度から開催を延期していた表彰式を、科学技術館サイエンスホールにおいて、文部科学省より丸山振興企画課奨励室長、特許庁より武井総務部総務課企画調査官をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了した。

同月 6 日から 7 日には、同館イベントホールにおいて新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて展覧会を開催（「第 80 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催）した。

②第 45 回未来の科学の夢絵画展

令和 4 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 9,249 点の作品について令和 5 年 2 月 2 日に開催した審査委員会において文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

令和 5 年 3 月 23 日には、科学技術館サイエンスホールにおいて、文部科学省より丸山振興企画課奨励室長、特許庁より吉澤総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行了した。

翌 24 日から 26 日には、同館イベントホールにおいて新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて展覧会を開催（「第 81 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催）した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 49 点 ○奨励賞 78 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 41 点

・「外国人学校の部」

○特別賞 1点 ○優秀賞 5点 ○奨励賞 10点

(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

本絵画展の受賞作品と各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）掲載し、広く一般に本事業の成果を発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

①少年少女発明クラブ

次の世代を担う人材を育成するため、全国各地域の発明クラブにおいて創造性を育成する活動を行った。なお、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、10 クラブが年間の活動を中止した。

・発明クラブ設置数：211 クラブ（令和 5 年 3 月 31 日現在）

・クラブ員数：約 10,100 名

・指導員数：約 2,500 名

②第 86 回少年少女発明クラブ全国会議

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止した。

③少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 83 名（41 クラブ）に対し、感謝状を贈呈した。

④少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした都道府県別研修会（5 か所）及びブロック研修会（1 か所）を開催した。

⑤少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑥「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

*本事業の①、⑤については、競輪の補助を受けて実施した。

(5) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

本コンテストは子どもたちがチームで協力して作品を作り上げ、チーム一丸となってパフォーマンスを競う形式で行われることから、新型コロナウイルス感染防止が困難と判断し、令和 4 年度は開催を中止した。

(6) 東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの委託事業として、第 65 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は港区立みなと科学館において令和 4 年 12 月 7 日～11 日にかけて開催し、特別賞 11 点、優秀賞 23 点、入選 56 点の計 90 点を展示した。また、表彰式を会期中の 11 日に同科学館プラネタリウムホールにおいて新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催した。

(7) 青少年創造性開発育成海外交流

世界青少年発明工夫展 (IEYI) は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりビデオ審査形式での開催となった (主催：台湾創意発展協会)。

日本からは、第80回全日本学生児童発明くふう展及び第44回未来の科学の夢絵画展において優秀な成績を収めた青少年25名 (創作品11点と絵画11点) が英語による作品紹介ビデオを作成して同展に参加、以下の各賞を受賞した。

・日本メンバー受賞結果

○金賞 9点 ○銀賞 3点 ○銅賞 7点 ○特別賞 3点

(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日 (令和 4 年 4 月 18 日) 及び科学技術週間協賛事業として、地域の発明協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展等を行った。

(9) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 42 回青少年創造性開発育成委員会」を令和 5 年 3 月 16 日に開催した。

(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

令和 4 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー 9 社・団体
- ・シルバースポンサー 10 社
- ・ブロンズスポンサー 22 社
- ・寄附 7 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム (IIPPF) の活動に企画委員として参画した。また、IIPPF 会員企業等の協力を得て、真正品、模倣品・海賊版等の展示を以下の各イベントにおいて実施した。

「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」の展示説明

・令和 4 年 8 月 6 日～7 日

「第 80 回全日本学生児童発明くふう展」「第 44 回未来の科学の夢絵画展」(同時開催)

・令和 5 年 3 月 24 日～26 日

「第 81 回全日本学生児童発明くふう展」「第 45 回未来の科学の夢絵画展」（同時開催）

「真正品、模倣品・海賊版」の展示説明

・令和 4 年 8 月 19 日

中央区(東京都)主催 「出張！IPカルチャー教室」

・令和 4 年 9 月 17 日

中央区(東京都)主催 「中央区児童生徒発明くふう展」

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）

地方発明表彰式にあわせ例年開催している地域協会会長等との懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。

13. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査・推薦を行った。

(2) 特許庁知財功労賞への協力

経済産業省・特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」及び「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補者・候補企業の調査・推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会の活動

同協議会が主催し、毎年開催していた新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。

15. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員ほか広く一般に配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

I－II. 事業報告書の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月
公益社団法人 発明協会

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	83,708,411	147,403,280	△ 63,694,869
未収入金	13,901,244	10,750,812	3,150,432
預け金	2,116,595	11,829,264	△ 9,712,669
前払費用	1,092,132	1,067,697	24,435
流動資産合計	100,818,382	171,051,053	△ 70,232,671
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
青少年創造特定資産	0	6,000,000	△ 6,000,000
退職給付引当資産	8,845,833	4,020,833	4,825,000
特定資産合計	8,845,833	10,020,833	△ 1,175,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	8,845,833	10,020,833	△ 1,175,000
資産合計	109,664,215	181,071,886	△ 71,407,671
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	15,866,917	5,086,892	10,780,025
未払金	48,534,195	54,859,183	△ 6,324,988
前受金	6,250,000	6,540,000	△ 290,000
仮受金	8,604,367	9,676,194	△ 1,071,827
預り金	467,941	360,175	107,766
流動負債合計	79,723,420	76,522,444	3,200,976
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,845,833	4,020,833	4,825,000
固定負債合計	8,845,833	4,020,833	4,825,000
負債合計	88,569,253	80,543,277	8,025,976
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	21,094,962	100,528,609	△ 79,433,647
(うち特定資産への充当額)	(0)	(6,000,000)	(△ 6,000,000)
正味財産合計	21,094,962	100,528,609	△ 79,433,647
負債及び正味財産合計	109,664,215	181,071,886	△ 71,407,671

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	29,860,000	30,180,000	△ 320,000
(3) 事業収益	2,941,636	2,733,636	208,000
① 発明奨励振興事業収益	(2,941,636)	(2,733,636)	(208,000)
(4) 受取補助金等	11,437,619	8,249,021	3,188,598
① JKA補助金	(11,437,619)	(8,249,021)	(3,188,598)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	182,749,091	238,591,909	△ 55,842,818
① 資金寄附収益	(116,500,000)	(180,278,000)	(△ 63,778,000)
② 協賛金収益	(35,909,091)	(34,090,909)	(1,818,182)
③ 資金寄附振替額	(30,340,000)	(24,223,000)	(6,117,000)
(6) 雑収益	1,132,243	1,104,613	27,630
① 雑収益	(1,131,785)	(1,103,894)	(27,891)
② 受取利息	(458)	(719)	(△ 261)
(7) 退職給付引当金等取崩額	0	23,320,833	△ 23,320,833
経常収益計	228,170,589	304,230,012	△ 76,059,423
2. 経常費用			
(1) 事業費	269,545,696	247,928,876	21,616,820
① 発明奨励振興事業費	(164,599,692)	(118,267,076)	(46,332,616)
② 事業人件費	(89,780,900)	(115,982,062)	(△ 26,201,162)
③ 事業事務費	(15,165,104)	(13,679,738)	(1,485,366)
(2) 管理費	38,058,540	38,656,133	△ 597,593
① 人件費	(9,311,611)	(16,089,485)	(△ 6,777,874)
② 事務費	(28,746,929)	(22,566,648)	(6,180,281)
経常費用計	307,604,236	286,585,009	21,019,227
当期経常増減額	△ 79,433,647	17,645,003	△ 97,078,650
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 79,433,647	17,645,003	△ 97,078,650
一般正味財産期首残高	100,528,609	82,883,606	17,645,003
一般正味財産期末残高	21,094,962	100,528,609	△ 79,433,647
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	30,340,000	24,223,000	6,117,000
① 資金寄附	(30,340,000)	(24,223,000)	(6,117,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 30,340,000	△ 24,223,000	△ 6,117,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,094,962	100,528,609	△ 79,433,647

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	14,930,000	14,930,000	14,930,000		29,860,000
(3) 事業収益	2,941,636	2,941,636	0		2,941,636
① 発明奨励振興事業収益	(2,941,636)	(2,941,636)	(0)		(2,941,636)
(4) 受取補助金等	11,437,619	11,437,619	0		11,437,619
① JKA補助金	(11,437,619)	(11,437,619)	(0)		(11,437,619)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	182,749,091	182,749,091	0		182,749,091
① 資金寄附収益	(116,500,000)	(116,500,000)	(0)		(116,500,000)
② 協賛金収益	(35,909,091)	(35,909,091)	(0)		(35,909,091)
③ 資金寄附振替額	(30,340,000)	(30,340,000)	(0)		(30,340,000)
(6) 雑収益	0	0	1,132,243		1,132,243
① 雑収益	(0)	(0)	(1,131,785)		(1,131,785)
② 受取利息	(0)	(0)	(458)		(458)
経常収益計	212,108,346	212,108,346	16,062,243		228,170,589
2. 経常費用					
(1) 事業費	269,545,696	269,545,696	0		269,545,696
① 発明奨励振興事業費	(164,599,692)	(164,599,692)	(0)		(164,599,692)
② 事業人件費	(89,780,900)	(89,780,900)	(0)		(89,780,900)
③ 事業事務費	(15,165,104)	(15,165,104)	(0)		(15,165,104)
(2) 管理費	0	0	38,058,540		38,058,540
① 人件費	(0)	(0)	(9,311,611)		(9,311,611)
② 事務費	(0)	(0)	(28,746,929)		(28,746,929)
経常費用計	269,545,696	269,545,696	38,058,540		307,604,236
当期経常増減額	△ 57,437,350	△ 57,437,350	△ 21,996,297		△ 79,433,647
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 57,437,350	△ 57,437,350	△ 21,996,297		△ 79,433,647
他会計振替額	57,437,350	57,437,350	△ 57,437,350		0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 79,433,647		△ 79,433,647
一般正味財産期首残高	0	0	100,528,609		100,528,609
一般正味財産期末残高	0	0	21,094,962		21,094,962
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄附金	30,340,000	30,340,000	0		30,340,000
① 資金寄附	(30,340,000)	(30,340,000)	(0)		(30,340,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 30,340,000	△ 30,340,000	0		△ 30,340,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	0	0	21,094,962		21,094,962

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	0	6,000,000	0
退職給付引当資産	4,020,833	4,825,000	0	8,845,833
合 計	10,020,833	4,825,000	6,000,000	8,845,833

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	8,845,833	(ー)	(ー)	(8,845,833)
合 計	8,845,833	(ー)	(ー)	(8,845,833)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
2022年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	11,437,619	11,437,619	0	ー
合 計		0	11,437,619	11,437,619	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
資金寄附振替額	30,340,000
合 計	30,340,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,020,833	4,825,000	0	0	8,845,833

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	737,973
預金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	66,602,195
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	3,090,961
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,000,405
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	8,682,000
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	76,267
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	3,518,610
未収入金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	13,901,244
預け金	函館少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費他	2,116,595
前払費用	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る借室料他	1,092,132
流動資産合計			100,818,382
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	8,845,833
特定資産合計			8,845,833
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固定資産合計			8,845,833
資産合計			109,664,215
(流動負債)			
買掛金	株式会社発明会館他	公益目的事業及び管理業務に係る発送料他	15,866,917
未払金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る出向料他	48,534,195
前受金	会員	公益目的事業及び管理業務に係る会費	6,250,000
仮受金	虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合	移転補償金	8,604,367
預り金	芝税務署他	公益目的事業及び管理業務に係る所得税他	467,941
流動負債合計			79,723,420
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	8,845,833
固定負債合計			8,845,833
負債合計			88,569,253
正味財産			21,094,962

収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
[1] 経常増減の部				
1. 経常収益				
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
(2) 受取会費	29,250,000	29,860,000	△ 610,000	
(3) 事業収益	3,408,000	2,941,636	466,364	
① 発明奨励振興事業収益	(3,408,000)	(2,941,636)	(466,364)	
(4) 受取補助金等	10,630,000	11,437,619	△ 807,619	
① JKA補助金	(10,630,000)	(11,437,619)	(△ 807,619)	
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	180,100,000	182,749,091	△ 2,649,091	
① 資金寄附収益	(128,000,000)	(116,500,000)	(11,500,000)	
② 協賛金収益	(32,100,000)	(35,909,091)	(△ 3,809,091)	
③ 資金寄附振替額	(20,000,000)	(30,340,000)	(△ 10,340,000)	
(6) 雑収益	1,084,000	1,132,243	△ 48,243	
① 雑収益	(1,084,000)	(1,131,785)	(△ 47,785)	
② 受取利息	(0)	(458)	(△ 458)	
経常収益計	224,522,000	228,170,589	△ 3,648,589	
2. 経常費用				
(1) 事業費	275,796,000	269,545,696	6,250,304	
① 発明奨励振興事業費	(162,782,000)	(164,599,692)	(△ 1,817,692)	
② 事業人件費	(95,884,000)	(89,780,900)	(6,103,100)	
③ 事業事務費	(17,130,000)	(15,165,104)	(1,964,896)	
(2) 管理費	42,622,000	38,058,540	4,563,460	
① 人件費	(8,932,000)	(9,311,611)	(△ 379,611)	
② 事務費	(33,690,000)	(28,746,929)	(4,943,071)	
経常費用計	318,418,000	307,604,236	10,813,764	
当期経常増減額	△ 93,896,000	△ 79,433,647	△ 14,462,353	
[2] 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 93,896,000	△ 79,433,647	△ 14,462,353	
一般正味財産期首残高	38,278,000	100,528,609	△ 62,250,609	
一般正味財産期末残高	△ 55,618,000	21,094,962	△ 76,712,962	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 受取寄附金	20,000,000	30,340,000	△ 10,340,000	
① 資金寄附	(20,000,000)	(30,340,000)	(△ 10,340,000)	
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,000,000	△ 30,340,000	10,340,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 55,618,000	21,094,962	△ 76,712,962	

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資金ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
	I 事業活動収支の部				
	1. 事業活動収入				
1	(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
2	(2) 会費収入	29,250,000	29,860,000	△ 610,000	
3	(3) 事業収入	3,408,000	2,941,636	466,364	
4	① 発明奨励振興事業収入	(3,408,000)	(2,941,636)	(466,364)	
5	(4) 補助金等収入	10,630,000	11,437,619	△ 807,619	
6	① JKA補助金収入	(10,630,000)	(11,437,619)	(△ 807,619)	
7	(5) 寄附金・協賛金収入	180,100,000	182,749,091	△ 2,649,091	
8	① 資金寄附収入	(148,000,000)	(146,840,000)	(1,160,000)	
9	② 協賛金収入	(32,100,000)	(35,909,091)	(△ 3,809,091)	
10	(6) 雑収入	1,084,000	1,132,243	△ 48,243	
11	① 雑収入	(1,084,000)	(1,131,785)	(△ 47,785)	
12	② 受取利息	(0)	(458)	(△ 458)	
13	事業活動収入計	224,522,000	228,170,589	△ 3,648,589	
	2. 事業活動支出				
14	(1) 事業費支出	272,250,000	265,970,371	6,279,629	
15	① 発明奨励振興事業支出	(162,782,000)	(164,599,692)	(△ 1,817,692)	
16	② 事業人件費	(95,884,000)	(89,780,900)	(6,103,100)	
17	③ 事業事務費	(13,584,000)	(11,589,779)	(1,994,221)	
18	(2) 管理費支出	41,343,000	36,808,865	4,534,135	
19	① 人件費	(8,932,000)	(9,311,611)	(△ 379,611)	
20	② 事務費	(32,411,000)	(27,497,254)	(4,913,746)	
21	事業活動支出計	313,593,000	302,779,236	10,813,764	
22	事業活動収支差額	△ 89,071,000	△ 74,608,647	△ 14,462,353	
	II 投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入				
23	(1) 特定資産取崩収入	6,000,000	6,000,000	0	
24	投資活動収入計	6,000,000	6,000,000	0	
	2. 投資活動支出				
25	(1) 特定資産支出	4,825,000	4,825,000	0	
26	投資活動支出計	4,825,000	4,825,000	0	
27	投資活動収支差額	1,175,000	1,175,000	0	
28	当期収支差額	△ 87,896,000	△ 73,433,647	△ 14,462,353	
29	前期繰越収支差額	38,278,000	94,528,609	△ 56,250,609	
30	次期繰越収支差額	△ 49,618,000	21,094,962	△ 70,712,962	

以上の通り相違ありません。

令和5年5月15日

公益社団法人 発 明 協 会
会 長 内 山 田 竹 志

令和4年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ
適法であることを認めます。

令和5年5月15日

監査役 石 井 宏 治

監査役 梶 原 徳 二

